

関東大震災から100年の節目の年、先達に学び防災・減災に取り組もう

国際ロータリー第2590地区ガバナー 樋口 明



1923年9月1日11時58分32秒に南関東を中心に発生した未曾有の巨大地震により、横浜、川崎は壊滅的な被害を受けました。直ちにニュースは世界に配信され、世界各地のロータリーからも救援の手が差し伸べられました。時の国際ロータリー会長であるガイ・ガンディカー氏は早々に2万5千ドルの義捐金を送金してくださり、総額は8万9千ドルにのぼりました。現在の貨幣価値に換算すると数十億円になると言われています。その義捐金は、震災孤児のための「ロータリーの家」の建設や小学校への備品送呈、医療機関への寄付、殉職警察官遺族への援助等に使われ、震災復興、被災者支援の一助となりました。

また、横浜ロータリークラブの創立者である井坂 孝氏は、当時横浜商工会議所の会頭として、震災からの復興に辣腕を振るわれました。因みに、横浜RCの創立は1927年と東京、大阪、神戸、名古屋、京都に次いで6番目ですが、震災がなければ3番目か4番目であったと言われています。

今年度の地区大会(11月10・11日 パシフィコ横浜会議センター)第1日目の本会議では、指導者研修セミナーとしてまず、上野 孝 パストガバナーより「関東大震災とロータリー」の演題で、関東大震災について、震災からの復興、その後の発展において、横浜商工会議所や横浜ロータリークラブが担った役割等につつましてご講演いただきます。次に、鈴木 一作 国際ロータリー第2800地区パストガバナー(ロータリーの友委員会副委員長)からは、上述しましたガイ・ガンディカー氏について、「ガイ・ガンディカーから学ぶロータリー」の演題でご講演いただきます。

地区大会1日目のテーマは、「先達を敬い」です。先達の知見、行いについて大いに

学ぶ機会にしたいと思っております。例年1日目の本会議は会長・幹事会として、各クラブの会長、幹事、及び一部の地区関係者等を対象としておりますが、大会ご登録者はどなたでもご出席頂きます。是非皆様、ご参加ください。

話題を戻しますが、関東大震災から100年、各クラブにおかれましては、この節目に防災、減災の取組み(教育、イベント等)を行なっていただきますようお願い申し上げます。

今月は、「基本的教育と識字率向上月間」、「ロータリーの友月間」です。ロータリーの友は、国際ロータリーの公式地域雑誌でありロータリー情報の宝庫であります。皆様にご購読いただけるよう冊子は毎年改善を重ね、またWeb版もリニューアルしております。「友」電子版アーカイブを検索しますと、何と1953年1月の創刊号も購読することができますので、是非、ご活用ください。

最後になりましたが、秋田での豪雨災害や各地で台風による被害も出ております。

被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。秋田(国際ロータリー第2540地区)の淡路徹ガバナーより、支援要請が参りました。当地区といたしまして、速やかにお応えしたいと思っておりますので、各クラブにおかれましては、趣旨ご理解の上ご支援賜りますようお願い申し上げます。